

公開実用 昭和64- 15479

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭64- 15479

⑬ Int. Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	⑭ 公開 昭和64年(1989) 1月26日
H 04 N 5/64 5/66	1 0 2	Z-7245-5C Z-7245-5C	審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 車載用液晶テレビ

⑯ 実 願 昭62-108606

⑰ 出 願 昭62(1987) 7月15日

⑱ 考 案 者 飛 田 衛 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社
内

⑲ 出 願 人 シャープ株式会社 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

⑳ 代 理 人 弁理士 杉山 毅 至 外1名

明 細 書

1. 考案の名称

車載用液晶テレビ

2. 実用新案登録請求の範囲

1. 自動車室内の天井に取付けられる外形で、本体よりディスプレイ部分を下方方向に開く事で使用できる機構を持つ車載用液晶テレビ。

3. 考案の詳細な説明

<産業上の利用分野>

本考案は、一般乗用車内での利用に適した車載用液晶テレビに関する。

<考案の概要>

本考案は、車載用液晶テレビにおいて、液晶テレビ本体を自動車天井に取付け、ディスプレイ部分を下方方向に開閉可能な機構を持たせ、未使用時にディスプレイ部が車内スペースを取らないようにしたものである。

<従来の技術>

従来、自動車専用の液晶テレビは特に無く、ブラウン管テレビ等で車内での使用を可能としたも

(1)

833.

公開実用 昭和64- 15479

のはあるが、車内での本体の固定方法やスペース的な問題により、必要性の割に不具合が多く、一般ドライバーにとっては今ひとつ受入れにくい状態となっている。

<考案が解決しようとする問題点>

走行中の重力変化や振動に対する安定した取付けが簡単には行えず、座席からの車室内視野は自動車としての操作、表示等で限りがあり、未使用時のディスプレイ面の存在がスペース的に支障を発生する。

<問題点を解決するための手段>

本考案では、液晶テレビ本体を自動車天井に取付けディスプレイ部を下方方向に開閉可能な機構を持たせる。

<作用>

必要に応じて車内のユーザーがディスプレイ部を開いて使用する。

<実施例>

第1図は乗用車の天井に取付けた液晶テレビを示す。矢印1は乗用車の前方向を表わし、液晶テ

レビのディスプレイ部2は閉じた状態を表わす。

第2図は、第1図の液晶テレビのディスプレイ部2を開いた状態を示す。水平方向の軸3を中心に角度を変え、ディスプレイ部2を開くと液晶面5が表われる。ディスプレイ部2と本体6はフレキシブルなワイヤー7で接続されている。

＜考案の効果＞

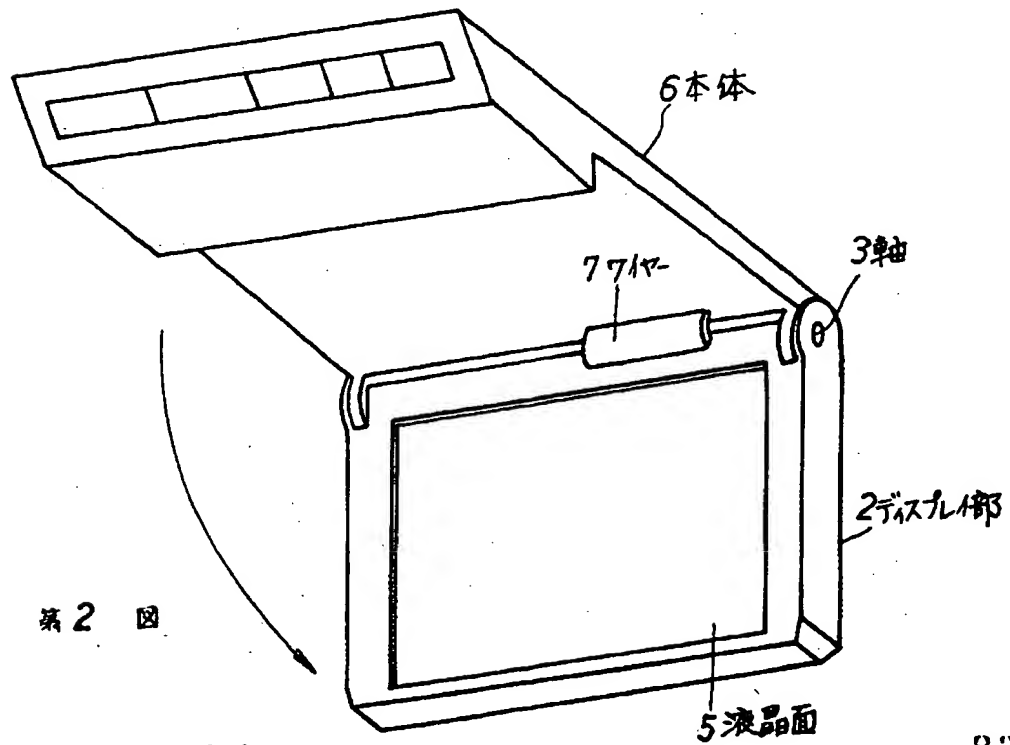
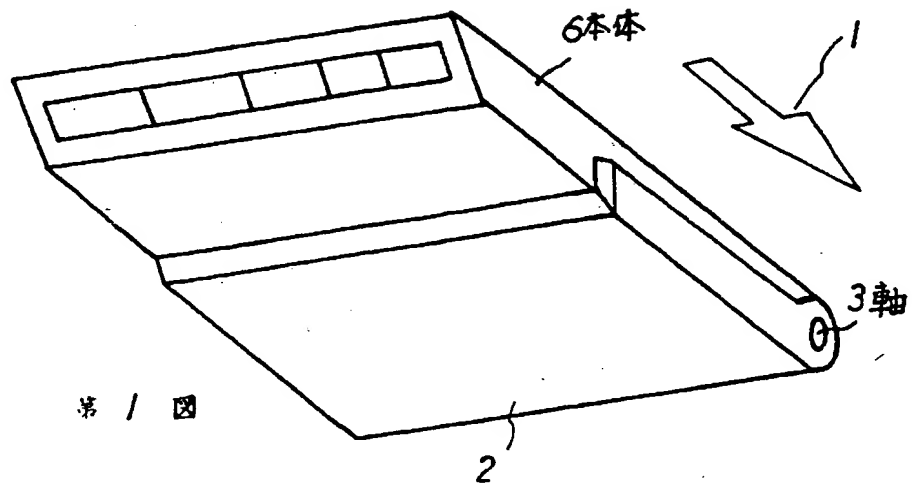
自動車の天井周辺は数インチサイズの液晶テレビを取り付けるにはスペース的にも充分であり、車内の温度上昇直射日光の影響なども比較的少なく座席からの視界としても有利なところといえる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の実施例の液晶テレビを乗用車の天井に取付けた状態で不使用時の下方斜視図、第2図は同液晶テレビの使用時の下方斜視図である。

代理人 弁理士 杉 山 毅 至 (他1名)

公開実用 昭和64-15479



出願人 シャープ株式会社
代理人 杉山毅至(他1名)

83

実開 昭64-15479-1